

## 上田地域鳥獣被害対策研修会を開催しました

上田地域の野生鳥獣被害面積は 517ha、被害金額は約 4,463 万円（平成 30 年度市町村報告、上田地域振興局農政課まとめ）あり、被害を及ぼす獣種は、シカ、カラス、ハクビシン等が多い傾向です。このことから、農作物の生産上、適切な鳥獣被害対策の実施は重要な課題となっています。

このような中、上田地域野生鳥獣被害対策チーム（上田地域振興局農政課・林務課、上田農業改良普及センター等）では、鳥獣対策に関する理解促進や技術向上等を図るため、令和 2 年 2 月 14 日に上小森林センターにおいて上田地域鳥獣被害対策研修会を開催しました。

農業者をはじめ、林業者、猟友会会員、JA職員、市町村職員等の様々な立場の方々、46 名が参加されました。

主な研修会の内容は、①「上田地域農林業の鳥獣被害状況、各種制度」②「鳥獣種別の生態・対策」③「電気柵の基本」④「果樹多目的ネットについて」で、①は、対策チームより説明を行い、②、③は、県農業技術課 菅澤副主任専門技術員から、イノシシ、シカ、ハクビシン、カラス、モグラ、ネズミの生態・対策について、電気柵に用いる部材の特徴や導入上の注意点等について、④は、JA信州うへだ営農指導課 宮下係長から、多目的ネットの種類や実際の導入方法、コストについて学びました。

また、会場内に電気柵の支柱、電気線、電牧器や箱わなを展示し、使用方法の確認等を行いました。

参加者からは、電気柵を導入する上での疑問点や対策技術毎の効果等に関する相談や質問が多数出され、関心の高さが伺えました。また、「鳥獣の生態を知ることができ、役に立つ内容だった」や「電気柵の導入方法を農家の方へ教えたい」等の感想をいただき、非常に有意義な研修会となりました。

今回は屋内での研修会でしたが、今後は、更なる対策技術の定着・向上に向けて、現地での研修会開催を検討しています。

